



TOYO TANSO
Inspiration for Innovation

第69期 中間株主通信

2010年6月1日～2010年11月30日

証券コード 5310



TOYO TANSO

Inspiration for Innovation

ごあいさつ	2
特集 - 急成長を続けるアジアマーケット -	3
シリーズ - 高性能カーボンはここに!! - & トピックス	7
財務ハイライト	8
営業の概況	9
連結財務諸表	11
地域別の概況	13
会社情報・株式情報	14

収益環境の好転を捉えて

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第69期中間株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

第69期第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の信用不安問題や欧米経済の停滞懸念はあったものの、アジア諸国をはじめとする新興国の高成長や各国の経済対策の効果にも支えられ、着実に景気回復が進みました。国内経済も、円高の進行や雇用情勢の停滞等の不安要因は残るものの、輸出および生産の改善や設備投資の持ち直し等により、総じて回復基調をたどりました。このような状況の中、当企業グループは、特に環境・エネルギー関連分野を中心とする旺盛な需要を積極的に取り込むとともに、アジアを中心にグローバル展開を一段と加速する等、事業拡大と業績改善に注力いたしました。この結果、当期間の業績は、円高の進行や高水準の減価償却費負担の影響はあったものの、大幅な増収増益を達成することができました。

今後の見通し

今後の経済環境につきましては、引き続き新興国が牽引し総じて緩やかな回復基調が継続すると見られます。ただし

経済対策縮小にともなう反動も顕在化しつつあることに加えて、欧米経済の下振れ懸念ならびに為替・信用不安問題・雇用情勢等の不透明要因もあり、決して楽観視はできない状況です。当企業グループを取り巻く状況も、太陽電池やLED等の環境・エネルギー分野を中心に足もとの需要は引き続き旺盛ではありますが、円高基調の持続や過熱感の反動ならびに調整懸念も含めて、先行きの情勢は依然予測し難い状況です。当企業グループといたしましては、引き続き中長期的な視点に立った事業拡大を志向し、高付加価値品の展開と海外拠点の拡充も含めたグローバル展開を一段と加速し、業績向上に注力していく所存でありますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2011年2月



代表取締役会長
近藤 純子

代表取締役社長
近藤 尚孝

急成長を続ける アジアマーケット

世界経済の中でも、急速に存在感を増すアジア地域。当社においてもアジア市場は拡大の一途をたどっており、最重点地域として注力しています。

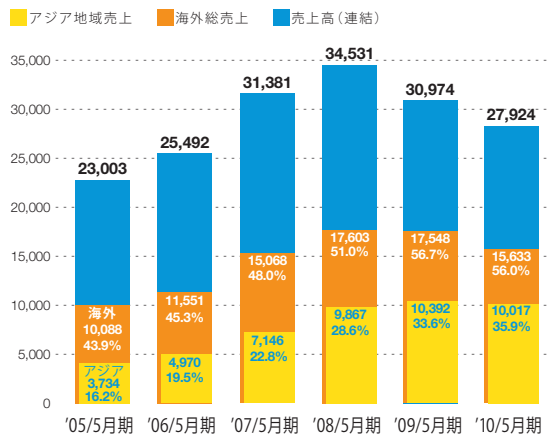
アジア向け売上高は年々拡大

産業が高度化し、経済のグローバル化が進む中で、当社が生産するカーボン製品も使用領域が広がるとともに、そのマーケットも世界各地において拡大しています。2005年5月期の海外売上高比率は43.9%でしたが、今第2四半期には57.9%にまで伸長しました。この海外売上げの急成長を支えているのがアジア地域です。2005年5月期に約37億円だったアジア地域での売上高は年々増加を続け、2010年5月期には約100億円へと5年間で約2.7倍に、売上高に占めるアジア地域の比率は16.2%から35.9%へと倍増しています。

太陽電池製造向けを中心に、特に中国で売上拡大が進んだことが主な要因ですが、近年ではLED関連で韓国や台湾でも売上げが高い伸びを示すなど、その勢いはアジア全体へと波及しています。

アジアの売上推移

(単位：百万円)



アジア全域をカバーする事業体制



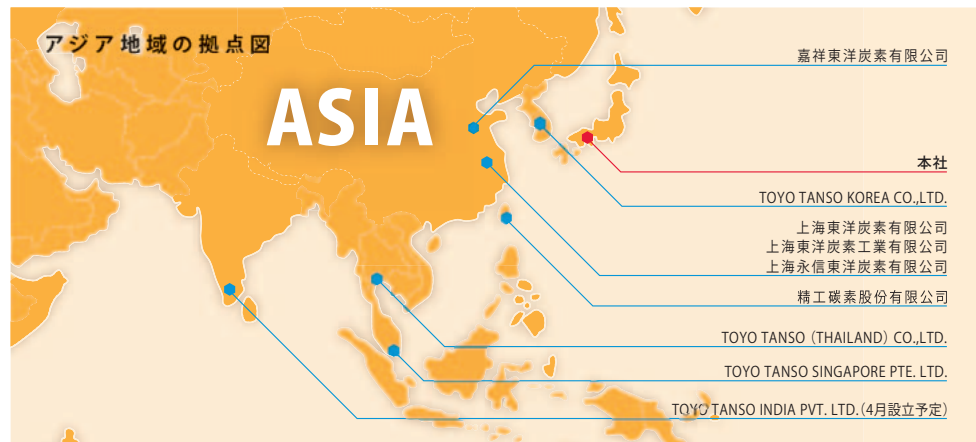
当社の営業体制は、直販を基本としており、ユーザーの声に直接耳を傾けることによってとらえたニーズを製品開発へと結び付けています。そのためにはユーザーの近くに拠点を設けることが重要ですが、急成長するアジアマーケットに対応するため、アジア各国への現地法人の設置を順次進めてきました。

中国には4つの現地法人を展開し、製品の販売だけでなく加工や製造も行っています。昨年の秋には「上海東洋炭素有限公司」の新工場が完成し、太陽電池製造向けや冶金関係で需要が増加している等方性黒鉛の加工能力が大幅に増強されました。また、「上海東洋炭素工業有限公司」では、家電製品のモーターなどに使用されるカーボンブラシの製造、販売に力を入れています。

韓国や台湾では、エレクトロニクス関連が好調で、液晶テレビのバックライトや照明用として注目されているLED向けが大幅に伸びています。

また、最近特に新たな市場として注目されている東南アジア地域にも力を入れています。自動車関係の産業が集積しているタイでは、関連産業向けを中心に製品の拡販に力を入れるとともに、周辺の新興国へも積極的な販売活動を行っています。昨年進出したシンガポールでは、政府の積極的な誘致政策もあり、半導体や太陽電池関連の企業進出が相次いでおり、隣国のマレーシアも含め販売活動を強化しています。

これらの地域に加え、今般インドへの子会社設立を発表いたしました。世界第2位の人口を持ち、急速な経済発展が見込まれるインドにおいても、積極的な事業展開をはかることによって、各国の既存拠点と連携しアジア全域をカバーする事業体制を構築してまいります。



現地子会社紹介



INTERVIEW

中国

01 上海東洋炭素有限公司

「新工場完成し、ますます攻勢を強める」

上海東洋炭素有限公司は、1994年の設立以来、著しい成長により世界の一大市場となった中国の最前線基地として、積極的な事業展開を進めてきました。今や売上規模は年50億円規模に達しており、アジアだけでなくグローバル戦略の中核拠点となっています。昨年、高成長を続ける太陽電池・半導体マーケットに対応するため、新工場を建設し能力増強をはかりましたが、今後は新工場のフル活用により一層業績を拡大させ、将来の更なる拡充を目指してまいります。



■総経理：詹 国彬

INTERVIEW

韓国

02 TOYO TANSO KOREA CO., LTD.

「LEDをはじめエレクトロニクス関連が好調」

豊富な資金力と研究開発費を武器に、韓国の電機メーカーは全世界で着実に勢力を拡大し、存在感を高めています。TOYO TANSO KOREAは2006年の設立と比較的新しい拠点ではありますが、好調な電機業界への積極的な営業活動により、これまで順調に業績を伸ばしてきました。現在、韓国ではLEDの生産が急速な勢いで拡大しており、その製造工程で欠かせないMOCVD用サセプターの販売が好調に推移しています。



■現地責任者：吉永 久道

INTERVIEW

タイ

03 TOYO TANSO (THAILAND) CO., LTD.**「自動車をはじめとする幅広い産業がターゲット」**

東洋のデトロイトと呼ばれるタイは、その名のとおり自動車産業を中心に様々な分野で製造業が成長しています。また、近年はインフラ関係の整備が進み、対外的な競争力も高まっています。そのような状況下で我々は2008年の設立以来、自動車関係をはじめとして、冶金関係や機械用カーボンなど幅広い分野への展開をはかるべく、新規顧客や新規用途の開拓に全力で取り組んでいます。



■現地責任者：木村 豊

INTERVIEW

シンガポール

04 TOYO TANSO SINGAPORE PTE. LTD.**「東南アジアの主力拠点として拡販に努めます」**

シンガポールや隣国のマレーシアでは、環境・エネルギーやエレクトロニクス分野などの先端産業で、日系企業だけでなく欧米企業が多数進出しています。これまでは、日本からの出張にて顧客開拓を行ってまいりましたが、今後の高い成長に備え、昨年9月に営業拠点を設置しました。今後はインドネシアなどの周辺諸国も含め本格的に需要の深耕を進めていきます。



■現地責任者：土屋 哲平

今後も全世界で積極的な事業展開を加速してまいります

東洋炭素グループの海外売上高比率は60%に迫る勢いで、その比率は年々高くなる一方にあり、等方性黒鉛をはじめとするカーボン製品の使用領域もますます広がりを見せています。また、アジア以外にも急成長を遂げている国や地域があります。今後も私たちは、常に世界情勢を敏感に感じ取り、広い視野からグローバルな展開を繰り広げてまいります。

シリーズ

高性能カーボンはこちら!!

「連続铸造用ダイス」

金属製品の製造方法として「連続铸造」と呼ばれる方法がありますが、特に銅系金属の製造時に鋳型（以下ダイスと記載）として欠かせないのが等方性黒鉛です。連続铸造とは、溶かした金属をダイスに流し込み、ダイスに接触させた水冷ジャケットで冷却することで固まった金属を出口から連続的に引き出し、一定断面形状の金属素材を製造する方法のことです。連続铸造を用いることで、一定の成分、品質、また様々な断面形状（薄板、丸棒、パイプ他）の金属の塊を製造することができます。この金属の塊を薄く延ばしたり、必要なサイズに切断し、後加工を行い最終製品へと仕上げていきます。連続铸造用ダイスには高温に強い、

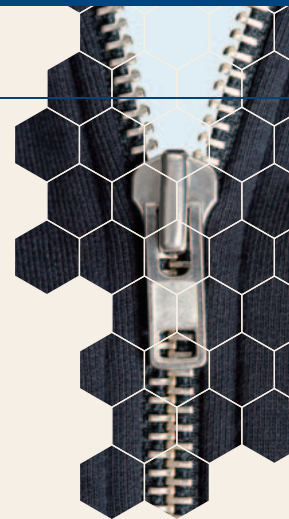


▲連続铸造用ダイス

すべりが良いといった、黒鉛が有する様々な特性が活かされています。

連続铸造によって製造された銅系金属から製作される製品には、電線やコネクタ、ボルト、ナット、硬貨、ファスナーなど様々なものがあり、私たちの生活の身近なところでも使用されています。

このように当社の高性能カーボンは、私たちの見えないところでも産業をしっかりとサポートしています。



TOPICS



「はやぶさ」への功績が認められ 感謝状の授与を受ける

7年の歳月と60億キロメートルもの飛行距離を経て小惑星「イトカワ」から微粒子を持ち帰った、小惑星探査機「はやぶさ」が昨年大きなニュースとなりましたが、この「はやぶさ」の心臓部とも言えるイオンエンジンの重要な部位に、当社のC/Cコンポジット材（炭素繊維強化炭素複合材）が使用されていました。

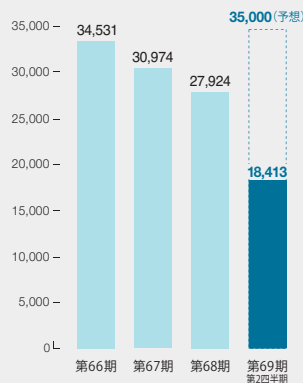
昨年12月、この「はやぶさプロジェクト」に功労のあった企業や大学等に対し、「はやぶさプロジェクトサポートチーム」として文部科学大臣、宇宙開発担当大臣からの感謝状贈呈式があり、当社もその一員として感謝状を受け取りました。

今後も宇宙開発の発展に貢献するべく、さらに技術力を高め独創的な製品開発を進めてまいります。

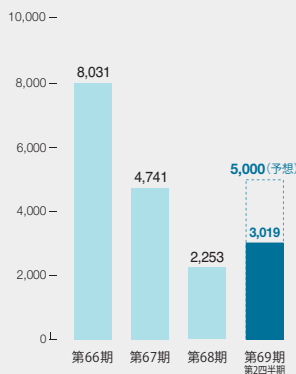


▲感謝状贈呈式

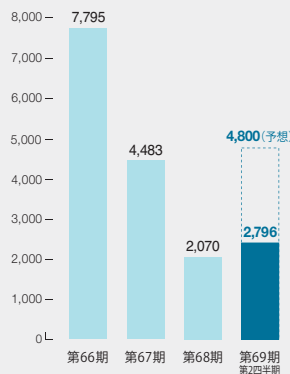
売上高 (百万円)



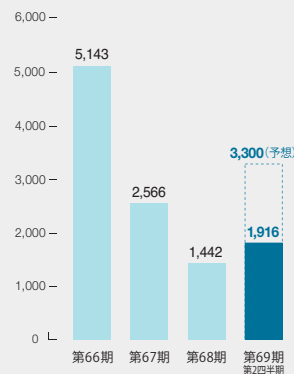
営業利益 (百万円)



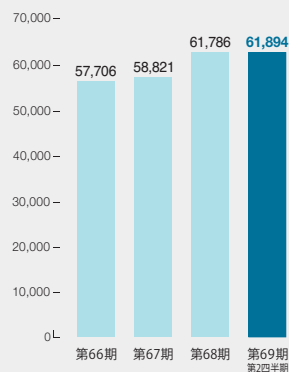
経常利益 (百万円)



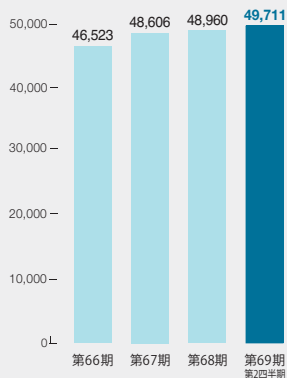
当期純利益 (百万円)



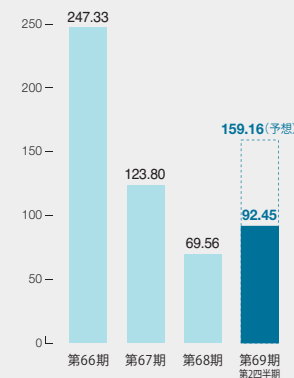
総資産 (百万円)



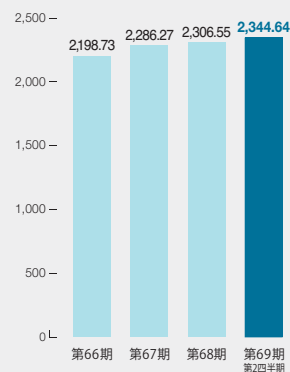
純資産 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



1株当たり純資産 (円)



連結業績

CONSOLIDATED RESULTS

	当 第 2 四 半 期 平成22年6月1日 から 平成22年11月30日まで	ご 参 考	
		前 第 2 四 半 期 平成21年6月1日 から 平成21年11月30日まで	対 前 年 同 期 比
売 上 高	18,413百万円	12,646百万円	45.6%増
営 業 利 益	3,019百万円	817百万円	269.6%増
経 常 利 益	2,796百万円	661百万円	322.9%増
四 半 期 純 利 益	1,916百万円	369百万円	418.2%増

部門別の概況 SEGMENT INFORMATION

CATEGORY 01

特殊黒鉛製品

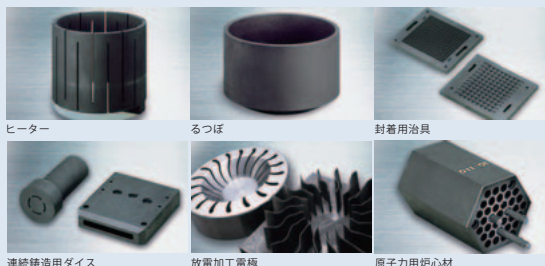
特殊黒鉛製品は主に等方性黒鉛材料を使用しています。エレクトロニクス分野では単結晶シリコン製造用、化合物半導体製造用、太陽電池製造用等に使用されており、一般産業分野では金属溶解等の冶金関連や各種工業炉向けの高温発熱体および炉内構造材、金型製造時の放電加工電極等に使用されています。このほか、原子力、宇宙航空、医療用分野等幅広い分野で使用されています。

事業概況

エレクトロニクス分野においては、太陽電池製造用が主力の中国を中心にアジア地域の需要が大幅に拡大、日本・欧州・米国も堅調に推移いたしました。特に中国・韓国・台湾の顧客の増設意欲は依然旺盛で、今後も強含みで推移する見込みです。単結晶シリコン製造用は、回復基調にはあるものの、国内半導体業界の一服を受けて構這い水準にとどまりました。

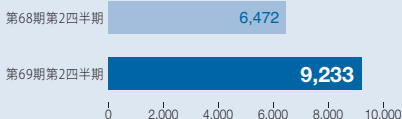
一般産業分野では、特に海外において主力の放電加工電極や冶金用が景気に連動して回復、国内も持ち直す等、総じて堅調に推移いたしました。

主要製品

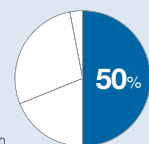


売上高・売上高構成比

□ 特殊黒鉛製品の売上高(百万円)



□ 第69期第2四半期
売上高構成比



CATEGORY 02

一般カーボン製品

主に従来の成形法で製造された炭素材料を使用しています。機械用カーボン分野では、一般産業機械用においてポンプやコンプレッサーの軸受け等の摺動部品、気体や液体のシール材として使用されており、輸送機器用において、鉄道のパンタグラフ用すり板として主に使用されています。電気用カーボン分野では掃除機や電動工具等の民生用途における小型カーボンブラシや、産業用途における大型カーボンブラシに使用されています。

事業概況

機械用カーボン分野は、景気回復を受けて緩やかな回復基調が継続いたしました。国内は円高を背景とした空洞化や設備投資停滞の影響が懸念されますが、海外は需要開拓が功を奏し拡販が進みました。

電気用カーボン分野は、主力の掃除機用・電動工具用等の小型モーター用が国内外とも堅調に推移いたしました。ただ期後半にかけて中国の掃除機用が弱含むとともに、燃料ポンプ等の国内自動車用がエコカー補助金制度終了の反動もあり失速いたしました。

主要製品



ベアリング

パッキン

シールリング



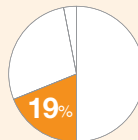
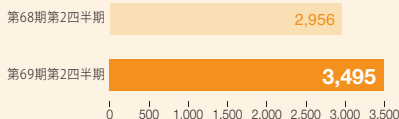
パンタグラフ用すり板

大型ブラシ

小型ブラシ

売上高・売上高構成比

□ 一般カーボン製品の売上高(百万円)

□ 第69期第2四半期
売上高構成比

CATEGORY 03

複合材その他製品

等方性黒鉛材料を基材に他の材質をコーティングした複合材料である SiCコーティング黒鉛製品のほか、カーボンとカーボンファイバーとの複合材料であるC/Cコンポジット製品、天然黒鉛を原料とする黒鉛シート等を製造販売しています。

事業概況

SiC(炭化ケイ素)コーティング黒鉛製品においては、アジアを中心とするLED関連の高成長と半導体関連の回復に支えられ、需要は大幅に拡大いたしました。ただしLED関連の受注は、急激な成長の反動もあり期後半より一時的に調整局面に入っております。C/Cコンポジット製品は、単結晶シリコン製造用のC/Cるつぼが顧客層の拡がりも含めて順調に拡大するとともに、太陽電池製造用が新規案件含めて引き続き高水準で推移する等、全体として大幅に伸びいたしました。また黒鉛シート製品は、半導体・太陽電池関連を中心に底堅く推移いたしました。

主要製品



エビセプター

MOCVDセプター

工業用ガセットおよびシール材



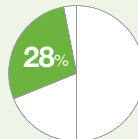
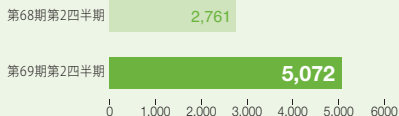
C/Cコンポジット製品(2次元縦タイプ)

C/Cコンポジット製品(るつぼ)

C/Cコンポジット製品(角型るつぼ)

売上高・売上高構成比

□ 複合材その他製品の売上高(百万円)

□ 第69期第2四半期
売上高構成比

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

資産の部

	当第2四半期 (平成22年11月30日現在)	前期末 (平成22年5月31日現在)
流動資産	32,278	31,000
固定資産	29,616	30,785
有形固定資産	26,979	28,290
無形固定資産	848	921
投資その他資産	1,788	1,573
資産合計	61,894	61,786

負債の部

	当第2四半期 (平成22年11月30日現在)	前期末 (平成22年5月31日現在)
流動負債	9,556	10,920
固定負債	2,627	1,905
負債合計	12,183	12,825
純資産の部		
株主資本	50,556	49,054
評価・換算差額等	△1,941	△1,229
新株予約権	13	6
少数株主持分	1,082	1,128
純資産合計	49,711	48,960
負債・純資産合計	61,894	61,786

① ポイント

POINT① 資産

減価償却費計上等による有形固定資産1,310百万円の減少、売上高増加による受取手形及び売掛金1,558百万円の増加、中間在庫の計画的積み増し等によるたな卸資産429百万円の増加等により、資産合計は108百万円増加。

POINT② 負債・純資産等

受注拡大にともなう原材料調達増による支払手形及び買掛金321百万円の増加、資産除去債務276百万円の計上、有形固定資産の購入による支払い等のため有利子負債737百万円の増加、また未払金948百万円、設備関係支払手形1,568百万円の減少等により、負債合計は642百万円減少。為替換算調整勘定712百万円の減少、利益剰余金1,502百万円の増加等により、純資産合計は750百万円増加。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで	前第2四半期 平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで
売上高	18,413	12,646
売上原価	12,399	9,079
売上総利益	6,014	3,566
販売費及び一般管理費	2,994	2,749
営業利益	3,019	817
営業外収益	76	154
営業外費用	299	310
経常利益	2,796	661
特別利益	1	127
特別損失	228	6
税金等調整前四半期純利益	2,568	782
法人税等	514	368
少数株主利益	137	43
四半期純利益	1,916	369

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで	前第2四半期 平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,702	1,703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,915	△3,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	308	48
現金及び現金同等物に係る換算差額	△152	△136
現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	△56	△1,734
現金及び現金同等物の期首残高	5,802	6,412
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,745	4,678

POINT③ 損益

円高による目減りはあったものの、太陽電池や LED向けをはじめ全般に好調に推移し、売上高は5,767百万円増加し半期としては過去最高を記録。売上拡大にともなう利益増に加え、高付加価値品の比率増加により、営業利益2,202百万円の増加、経常利益2,135百万円の増加、四半期純利益1,547百万円の増加。

引き続き海外売上高比率は高水準(57.9%)。
特にアジア地域のプレゼンス上昇。



事業拠点 平成22年11月30日現在

○ 国内事務所

- 本社・大阪営業所・海外営業部
- 東京営業所
- 東北営業所
- つくば営業所
- 北陸営業所
- 静岡営業所
- 名古屋営業所
- 広島営業所
- 四国営業所
- 九州営業所
- 近藤照久記念東洋炭素総合開発センター
- 東洋炭素生産技術センター
- 詫間事業所
- 萩原工場
- いわき工場

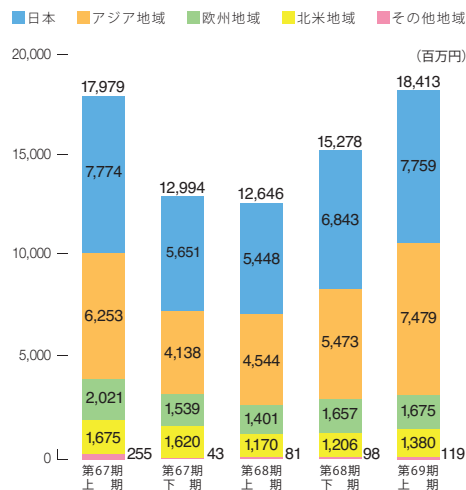
○ 国内関係会社

- 東炭化工株式会社
- 大和田カーボン工業株式会社

○ 海外主要関係会社

- TOYO TANSO USA, INC. (アメリカ)
- GTD GRAPHIT TECHNOLOGIE GmbH (ドイツ)
- TOYO TANSO EUROPE S.p.A (イタリア)
- TOYO TANSO FRANCE S.A. (フランス)
- SHANGHAI TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
- SHANGHAI YONGXIN TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
- SHANGHAI TOYO TANSO INDUSTRIAL CO., LTD. (中国)
- JIAXIANG TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
- TOYO TANSO TAIWAN CO., LTD. (台湾)
- TOYO TANSO KOREA CO., LTD. (韓国)
- TOYO TANSO (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- TOYO TANSO SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)

地域別の売上高



株式の状況

(平成22年11月30日現在)

発行済株式の総数	20,750,688株
単元株式数	100株
株主数	8,165名

大株主

(平成22年11月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
近藤 純子	3,418	16.48
近藤 朋子	1,873	9.03
近藤 孝子	1,785	8.60
近藤 尚孝	1,527	7.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,140	5.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,116	5.38
財団法人近藤育英会	834	4.02
株式会社みずほ銀行	360	1.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	360	1.73
ジュニパー	352	1.70

会社概要

(平成22年11月30日現在)

設立	昭和22年7月31日
本社	〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル10階
資本金	7,692,575,648円
従業員数	925名 (単体) 2,074名 (連結)

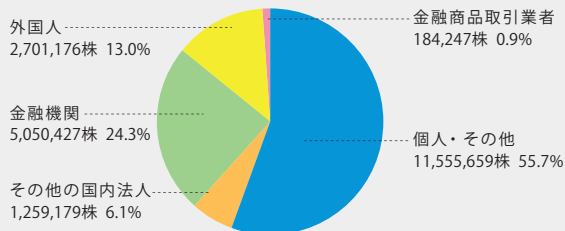
役員

(平成22年11月30日現在)

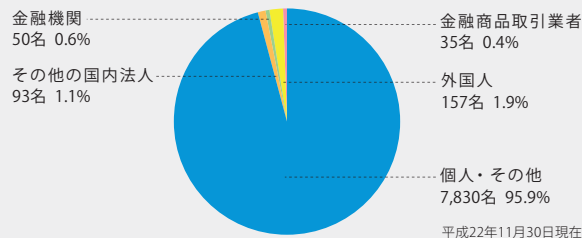
代表取締役会長	近藤 純子
代表取締役社長	近藤 尚孝
専務取締役	中原 全生
取締役	三木 相煥
取締役	中山 正一郎
取締役	小西 隆志
常勤監査役	中西 和孝
監査役	江戸 忠
監査役	田辺 陽一
監査役	出原 敏

※監査役 江戸 忠氏、田辺 陽一氏および出原 敏氏は社外監査役です。

所有者別株式数分布状況



所有者別株主分布状況



平成22年11月30日現在

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年8月
定時株主総会 期末配当 中間配当	毎年 5月31日 毎年 5月31日 毎年11月30日
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。ただし、 事故その他やむを得ない事由によって電子公告に よる公告をすることができない場合は、日本経済 新聞に掲載して行う。

電子公告掲載
ホームページアドレス

<http://www.toyotanso.co.jp>

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

郵便物送付先	〒541-0053 大阪市中央区本町四丁目1番13号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話お問合せ先	0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5310

-
- 未受領の配当金について
三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。
 - 株式に関する住所変更等のご照会及びお届出について
株式に関するお手続き(住所変更・改正等のお届け、配当金振込先のご変更、相続手続き等)のご照会及びお届出につきましては、株主さまが株券電子化に伴い口座開設(ほふり)の手続きをされました証券会社にてお取扱いいたしますので、証券会社の窓口にご連絡ください。